

# 日本橋モラロジー事務所 概論研究会（9）

人心の開発救済

# はじめに・ ・ ・ 結構ややこしい??

- 最高道徳として
  - 品性の完成の仕上げはこれだ！「人心の開発救済」である。
    - 人間の精神に最高道徳の考え方と実践方法ち意欲を伝達することである。
    - すなわち、「自我没却」「正義と慈悲」「義務先行」「伝統報恩」等を実行する精神を育てること
- 最終的に
  - 精神に最高道徳で満たす人が一人でも多く増えるならば社会はより平和となり、各人は想像力を高め、確かな安心と幸福をもたらすはず！
- でも・ ・ ・ 今、世界&日本はその動きに逆行しているのでは！

# 開発救済とはなにか？

- 人間の精神を耕す
  - 万物の相互依存のネットワークの一員として自覚を持つ
  - ネットワークの方向性に個々責任をもつ
    - そのためのツールとして「倫理道徳」があり、その知識と知恵が
      - 1. 聖人の教説 2. 哲学及び科学 3. 歴史を作ってきた人類の経験の積み重ね
- 開発から救済へ （自分？相手？どっち？）
  - 開発とは、「自己中」から「最高道徳」精神へ根本的に改善する
  - 救済とは、「品性の感性」
  - 結果として、何事にも動ぜず重い煩いの「安心立命」の心境になる
- 精神開発の主要な柱
  - 人間精神の可能性を信じ、知識や知恵を身につける
  - 正しい精神を他人に移植するための方法を会得し、実行する
  - 聖人の精神を理解し、安心立命の境地を知り、感化される （誰が？）

# 人心開発の方法

- 品性向上を目指す相互扶助
  - 他者への働きかけを通して、自己自身の精神を開拓
  - 相手を安心の境地に誘う
- 全人格を通じた働きかけ
  - 自分の全人格的を通じて相手を感化する
    - 相手の道徳的判断を育てる&他へのコミュニケーション能力を高める
    - 相手の深層にある心情や感性を呼び覚ます
    - 相手の良心を際立たせ、善に向かい悪を避ける勇気を得させる
  - その方法は
    - 共同学習、個人的実行、人格的感化の3つがある
- 慈悲心を徐々に育てる
  - 根本的に自分の慈悲心を、絶えず確認してそれを育てることが必要（相手のではない）

# 人心救済と全人格的意味の回復

- 人生の意味の崩壊と苦悩
- ケアの根本——人生の意味の再建と希望
- ケアの実践要領

# 人心救済と全人格的意味の回復（1）

- 人生の意味の崩壊と苦悩
  - 人生における「精神的な健康」がおかされる
  - その内容とは
    - 1. 人生の先への行き詰まり、意味の喪失
      - あ. 病気・怪我などの肉体的苦痛
      - い. 子孫断絶の苦痛
      - う. 暮らしの行き詰まり
      - え. 仕事や業績による不満や自身喪失
    - 2. 出会いに関する苦悩
      - あ. 人間関係の失敗に関わる苦悩
      - い. 環境とのつながりの欠如からの苦痛・苦悩
    - 3. 死への恐怖

# 人心救済と全人格的意味の回復（2）

- ケアの根本——人生の意味の再建と希望
  - 人心開発救済の目的は「人生の意味の発見し」  
「その後の人生に希望を安心を育てる」
    - 現在は、あらゆる層で精神的な健康が損なわれている
    - その健康を取り戻すために
      - 様々な層の他人をコミュニケーションを取る必要がある
      - そして
    - 未来への希望を手に入れるべき
  - ここから先は、「終末期」について述べているので割愛します

# 人心救済と全人格的意味の回復（3）

## ・ ケアの実践要綱

### ・ 相手に対するケアの具体的要点

- ・ 1. 自分と相手の状態を洞察する
- ・ 2. ケアに対する解決方法を模索する 「言葉」 「態度」 「共有」
- ・ 3. 相手の視野を広げるための支援を考案する
- ・ 4. 先人（伝統をもとにした人たち）の苦労や喜びを学び、それを相手と共有する
- ・ 5. 相手が「死後」の靈魂の行く末の不安の解消

- ・ 相手と時間を共有し、「一人でない」ことを認知させ
- ・ 「この世から去る」ことが、人間の幸福にとって究極の目的
- ・ その達成は尽きせぬ喜びである

・ んんん～～～

理解に苦しみます～～～



# 品性完成した人の姿

- 純粹他力の中で自力の努力を
- 人心開発救済の事業への献身
- 真に救済された人の品性

# 品性完成した人の姿（1）

- 純粹他力の中で自力の努力を
  - 最高道徳を実践する一丁目一番地は「自助努力」
    - ただし、自分の力には限界がある
  - そこで「他力」にも頼らねばならない
    - 他力とは・・・自分を越えた力（自然・神仏・先輩・後輩）など
- 命は「必ず豊かに成長していく」と信念が必要
  - 従って、人心開発救済の相手にも「可能性を認め」「相手を信頼する」のが肝要
  - 相手も、「信頼されている」「精神を根本的に改造する気になる」  
だそうです???

# 品性完成した人の姿（2）

- 人心開発救済の事業への献身
  - 人心開発救済の具体的な活動について
    - 1. 知徳一体を念頭に徳育を大切にする教育の実践
    - 2. 医療施設&介護施設の設立、経営
    - 3. 労使関係&職場環境の完全、社員の道徳性の向上実践
    - 4. 各種業界の倫理の確立
    - 5. 安心安全な産業の育成
    - 6. 地球資源の節約の研究と開発
    - 7. 地域社会の功労者の顕彰や報奨
    - 8. ボランティア活動の積極的な参加や支援
    - 9. 災害時の支援活動の理解と協力
    - 10. 地球環境保全の活動や援助
  - 自身ができる範囲で活動する
  - できない場合は「感謝報恩」の精神で可能な自身が精進する

# 品性完成した人の姿（3）

- 真に救済された人の品性はこのような特色を・・
  - 1. 自然の摂理に従い、それを十分に理解している
  - 2. 各自の運命は品性の程度によってきまる
  - 3. 慈悲寛大の精神を持つ
  - 4. 義務先行の精神を持つ
  - 5. 伝統に対する感謝と報恩の心を、持つ
  - 6. 知恵を身につけ精神が安定している
  - 7. 一般社会への積極的な参画、発展に寄与
  - 8. 八面玲瓏の精神で、人に接する
  - 9. 人を惹きつける
  - 10. 常に自己反省する

# 人心開発と救済の効果

- 人に心は、他者との共生、交流、対話によってのみ磨かれ、発達する
- 他者との交流を通じて、自分自信の精神力を高め、生き力&エネルギーを獲得できる
- 人心開発救済は実践する人に「無上の喜び」をもたらし、無償奉仕の慈悲心を育てる
- 結果的に人心開発救済を実践する人自身が、最終的に救済される

————究極の目的！

# 人心開発に関するチェックリスト

- 意志がある
- 時間がある
- 相手がいる
  - 開発される気がある
  - 課題は理解している
  - ある程度、開発のロードマップがある
  - ツールがある
- 本人に実力がある？

「私には無理！！！」